



## 白系ばら新品種「愛知2号」を開発

－新品種でシェア拡大を目指します－

### 開発の背景・ニーズ

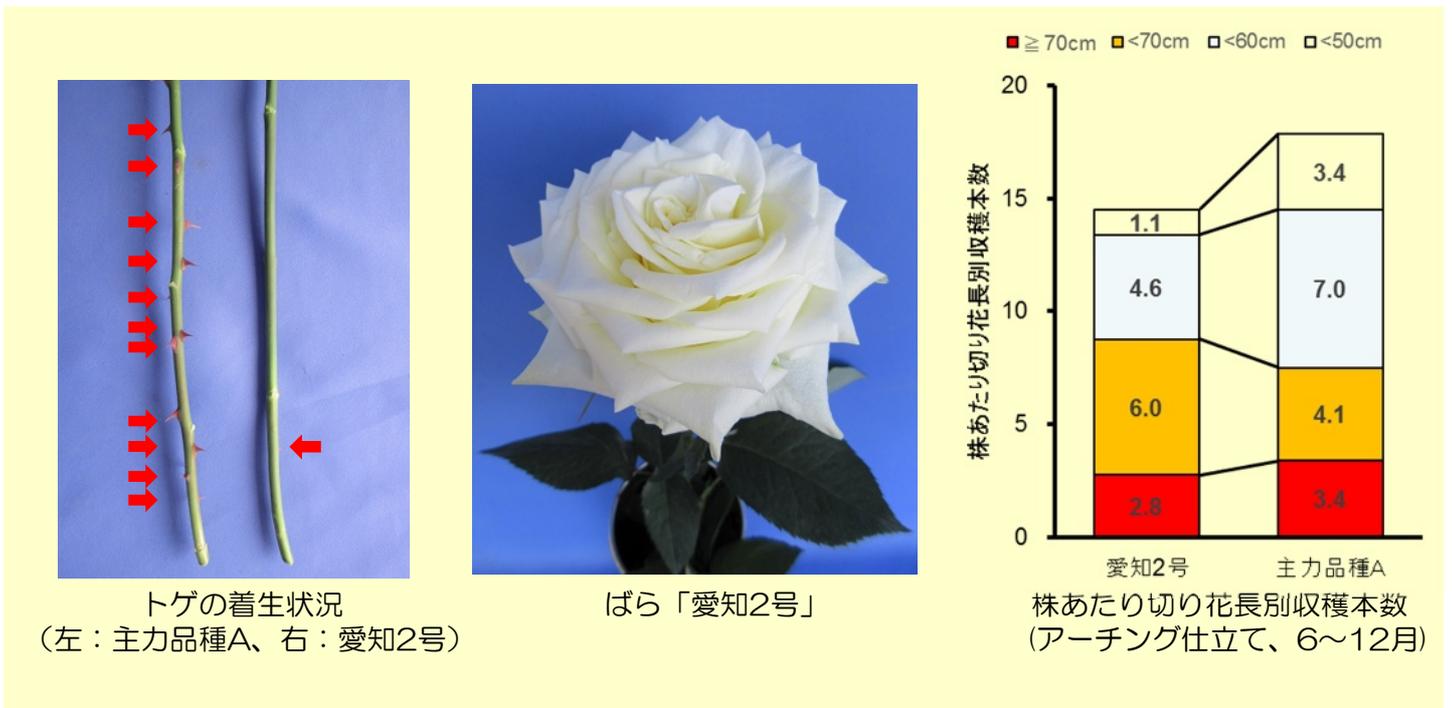
愛知県のばら切り花生産量は、全国1位を誇っています。しかし、近年は、資材や運賃の高騰、購入金額の低下傾向、海外から一年を通じて品質の安定した安価な切り花が輸入されるなどにより、経営環境が厳しくなっています。そこで、これらの状況を解決する一つの方策として、高い生産性を持ち、トゲが少ないスタンダード系品種の開発に取り組みました。

### 成果の内容

ばら「愛知2号」は、2011年に交配し2021年に育成を完了した白系スタンダードタイプの品種です。特徴は、①花色が温かい印象を与えるやや黄みを帯びた白系で一年を通じ安定している、②高温期にも芳香性がある、③花冠にボリュームがある、④トゲが極めて少ない、などです。

収穫本数は、出荷可能となる50cm以上の切り花では主力品種とほぼ同等です。

これらの特徴から、ブライダルやテーブルフラワーなど多様な需要に柔軟に対応できる品種です。



### 愛知県農業への貢献

高温期の花色が現在生産されている主力品種よりも安定しているため、出荷量が安定します。また、白系主要品種にはない「芳香性」があることから、新たな需要を喚起し市場における愛知ブランドの向上と産地の活性化が期待されます。

2021年度に1万本、2025年度に10万本の出荷を目指します。  
(2021年5月品種登録出願)